

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」  
に対する県民意見募集等の結果について

平成23年2月

大分県

# 1. 意見募集等の概要

## (1) 意見募集対象

- ・ 玉来ダム建設事業の検証に係る検討案

## (2) 意見募集方法及び期間

### ① 県民意見募集（パブリックコメント）

：平成22年12月24日～平成23年1月24日（一ヶ月間）実施

### ② 地域住民からの意見聴取：平成23年1月17日～1月24日実施

### ③ 学識経験者からの意見聴取：平成23年1月実施

### ④ 関係地方公共団体の長からの意見聴取：平成23年1月実施

（参考）委員からの意見聴取：平成23年1月実施

## (3) 意見の提出方法

### ① 県民意見募集（パブリックコメント）：郵送、FAX、電子メール

### ② 地域住民からの意見聴取：返信ハガキ

### ③ 学識経験者からの意見聴取：電子メール

### ④ 関係地方公共団体の長からの意見聴取：公文書

（参考）委員からの意見聴取：FAX、電子メール

## 2. 意見聴取結果の概要

### (1) 意見聴取結果

① 県民意見募集（パブリックコメント）：4人（8件）

② 地域住民からの意見聴取：53人（92件）

※ 延べ意見総数（上記①+②）：57人（100件）

③ 学識経験者からの意見聴取：2人

④ 関係地方公共団体の長からの意見聴取：1人（竹田市長）

（参考）委員からの意見聴取：9人

### (2) 頂いた御意見の概要と頂いたご意見に対する考え方

・次ページ以降

# ① 県民意見募集（パブリックコメント）

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（県民意見募集：1/2）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
県民意見募集（パブリックコメント）	1	一般 (1)	<p>・自分の世帯は、玉来川の支流である滝水川と藤渡川の2つの河川に挟まれた台地に居住している。これら2つの河川は荻地域内で合流し、玉来の市街地に入る手前で玉来川と合流する。昭和57年や平成2年の集中豪雨では、こうした支流から溢れた水や土砂、流木が下流域に大きな被害をもたらしている。特に平成2年の集中豪雨では、滝水川や藤渡川の流域で犠牲者は出なかったものの、滝水川の流域の新藤・南河内地区の住宅家屋3棟が流出し、2つの河川から流れ下った水や土砂、流木とともに下流の橋や家屋などを押し流し、玉来川流域は未曾有の大水害となった。これを受け、旧竹田市や旧荻町では災害復旧や河川改修が行われ、旧荻町にあっては、新藤・南河内地区の6世帯が安全な桜町地域や大分市に移転した。これにより玉来川流域の安全度は増し、滝水川を始め玉来川の支流流域については、水害の心配はほとんどなくなった。<u>玉来川流域の河川改修は、本流の上流部に「玉来ダム」を建設することを前提として行われており、本流の治水を行うことにより、大雨により支流からの流入量が増加しても本流域にある市街地の安全性は確保されるという構想である。</u>荻地域から見れば、下流域に暮らす玉来地区の人々のことを思うと、玉来川の治水対策は極めて重要な意味を持つと考える。</p> <p>また、<u>玉来川の流域は、全体的に平地が少なく、玉来の市街地は少ない平地に住宅地や商業施設が集中しており、この中を鉄道や国道、県道が通っている。また上流部に行くと傾斜地に住居があり、耕地は、河川に沿うように連なっている。こうした地形にあって、遊水池や放水路など、ダム以外の治水方策を見出すことはコスト面や実現性などの観点から考えて極めて困難である</u>と考える。</p>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（県民意見募集：2/2）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
県民意見募集 （パブリックコメント）	2	一般 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年の大雨の時は、子どもが玉来川沿いにある南部小学校に通っており、学校は一階が水に浸かり、電話も不通で連絡の取りようもなく心配でたまりませんでした。あれから、20年以上が過ぎましたが、<u>いつ同じような大雨が降るかわかりません。</u></li> <li><u>とにかく早くダムを造ってくださることを望みます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	3	一般 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>住民の安全・安心の生活のためには、早期の事業完成が必要だと思ふ。</u></li> <li><u>玉来ダムの早期完成を望みます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	4	一般 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>過去に遭った水害を振り返ると、稲葉ダムと玉来ダムがそろって完成して、初めて安全性が確保できるものと思ふ。一つだけでは、不十分である。過去の水害を検証すればはっきりしている。</u></li> <li><u>対策案では①がよいと思ひます。総合評価点の通りと思われる。</u></li> <li><u>最後に市民の「生命、財産を守る」ことから、早期の事業完成を求めます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

## ② 地域住民からの意見聴取

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：1/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	5	地域 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>下流の安全目的のダムなので、四段階評価の実施方法に賛成します。皆様各位最良方法で事業をお願いします。</u></li> </ul>	地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。
	6	地域 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の実家は、昭和28年6月28日の西日本水害で流されました。のちに魚住ダムを作ったのです。水害で水につかったり、流された人でないと悲しさはわからないと思います。これからは年をとっていきます。逃げるのも出来ないようになると思います。<u>1日も早く玉来ダムが出来ることをお願い致します。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	7	地域 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ダム案に絶対賛成です。</u></li> <li>・理由は、<u>最近の気象状況からみてもわかる様に集中豪雨が起こりやすく、平成2年以上の豪雨があると考えられる。</u></li> <li>・住民はもちろん玉来川沿いには大型商業施設が出来て竹田市民の生活の中心となっている。平成2年頃よりもっと重要な地域へ進みつつある今後なお発展をする玉来川沿いであり、<u>災害を考えると土手を高くするより流れ出る元を調整した方が得策と考えられる。災害が起きればダム建設費より大きくなる。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	8	地域 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身、平成2年の水害で職場も住家も被災し、また命まで危なくした経験があり、あれから20年余りを過ぎても当時のことが鮮明に思い出されます。<u>現在5つの対策案で検討されているとのことですが、河川沿いにしか平坦地がない玉来川流域の地形を考慮し対策案を選定して頂きたいと思います。</u></li> <li>・そして、<u>近年の異常気象の発現状況では何時、平成2年の雨量を超える雨が降るかわかりません。</u></li> <li>・<u>少しでも早く流域住民が安心して生活出来るよう早急な対策をお願いします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：2/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	9	地域(5)	・ <u>検討案による総合評価により、早期の玉来ダム建設着工を望みます。</u>	地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。
	10	地域(6)	・ <u>早期の着工をお願いします。</u>	予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。
	11	地域(7)	<p>・昭和57年、平成2年時の水害をもう一度思い浮かべ、論議するならば私の意見は次のようになります。水量もさることながら流木・倒木によって水は広範囲を浸し、河川の機能を失った結果、大惨事に至ったと思います。<u>②～⑤はこの状況を満足すると思えません。</u></p> <p>・<u>現行案に加え、スリットダムを2ヶ所程度流域に作れば森林保全効果も少しはあるのではないかと思います。</u></p> <p>・<u>取付け道路を管理下において整備しておけば緊急時には大きな効果を期待できるのではないのでしょうか。</u></p>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>流木の流出防止として、森林の適正な管理について、今回の検証報告内で委員から付帯意見として、いただいております。関係部局に働きかけを行う予定です。また、現行治水対策案についてはダム上流に流木捕捉施設を設置する計画としております。</p>
	12	地域(8)	<p>・当時川床地区の玉来ダム建設推進者の方々は年々歳を重ねて随分高齢となりました。早く玉来ダム着工のニュースを聞かせ、稲葉ダム完成と同じ喜びを共に感じたいと願っています。稲葉ダム地権者協議会を中心とした地元交渉に竹田市行政職員として大分県との協議等に先頭に立って努力した経験があります。玉来ダム建設にも関わり、玉来ダムの地元地権者の方々とも当時、玉来ダム建設の早期実現に向けて前進的に考えて双方一定理解のもとで努力してきたことを思い出します。政権交代によりダム事業の見直しが検討され国内各地では建設中止や凍結という事態が発生し玉来ダムのように再検討されている箇所も多く在ると聞かされています。私は行政側の経験者として第一にはやはり玉来ダム建設です。大災害以来これまで、あれ以上の災害は発生していないのも事実ですが、自然は人間の想像以上の事前災害を起こす可能性を秘めています。</p> <p>・<u>竹田市以外の下流域の安全確保も含めダムの早期着工・完成を望みます。</u></p> <p>・<u>更に、玉来ダム流域は活気がなさすぎます。道路整備も併せて改良できると良いのですが。</u></p>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p> <p>道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：3/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	13	地域(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水を制するものは国を治め得る。水害は忘れた頃やってくる。昔も水害はあったらしい。<u>人的、物的被害を考えて安全な対策をしてもらいたい。</u></li> <li>・完成はすぐとは行かぬと思うが、<u>稲葉ダムも出来てどうして玉来のダムはもたつくのだろうか。</u></li> <li>・<u>住民が二度と災害に遭わないよう万全の対策をしてもらいたい。安心安全の町作りを取り組んでもらいたい。</u>のどもとさめて熱さ忘れるではいけない。行政の圧力等にめげずに取り組んでほしい。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>稲葉ダムと同様の難しい地質であるため、慎重な調査・設計を行っておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。</p>
	14	地域(10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>玉来ダム案以外にはないと考えていましたが、総合評価もその通りになり安心しました。</u></li> <li>・この結果を国に報告し承認をもらい <u>1日も早く工事に取りかかるようお願いいたします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	15	地域(11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>5案の治水対策案の中では現行治水対策案である玉来ダム案が全川に対して最も効果があり実現性があります。是非、この案の推進にご尽力をお願いいたします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	16	地域(12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私のような老人には何が何だか一向にわかりません。<u>水もれがするダムを作って、前もって調査する必要がある、場当たりのですね。金がないからダム建設中止とか、政府が変わればまた作るとか、人のすることは何が何だかわかりません。</u></li> </ul>	<p>意見の一つとして承ります。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：4/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	17	地域 (13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>検討の場での討議した委員の氏名及び選考した事由等を公報にて市報等に記載してほしい。</u></li> <li>・<u>森林保全選定を外した事はあまりにも早期に過ぎないか。流木にてダム化して玉来地方は冠水した。</u></li> </ul>	委員の氏名及び分野は大分県の各機関や竹田市で縦覧し、県のホームページでも公開しております。国の「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づく検証の結果、森林の保全は詳細検討案に選定されませんでした。森林の保全は水源涵養や保水効果が見込まれることから、適切な維持管理について提言して参ります。
	18	地域 (14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>奥豊後は溪谷ばかりですから大量な雨ですぐに地滑りを起こし、立木が堤止めして災害を大きくしてきました。</u></li> <li>・最近、気候傾向が変わり夏は暑く、冬は厳しい寒さとなり、今月は、この30年来住んだ家で凍結した状況から、予想雨量を大きく見積もりすれば大野川全体からみても「ダム」が必要だと思います。</li> </ul>	地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。ダム上流に流木捕捉施設を設置する計画としております。
	19	地域 (15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>玉来ダムは、過去の水害の実績による人命や地域の財産の多大な損失を防ぐために必要とされる対策であり、評価軸の安全性は最も尊重されるべき事項だと考えます。今回は客観的指標も導入し評価点で比較しても、玉来ダム案+河川改修が次点を大きく離して1位であったということで裏付けは確保できたのではないのでしょうか。</u></li> <li>・<u>流域に居住する者としては、安全安心の居住環境を確保することは、当然のことと考えるし、河川上流域の水源を守る活動が、下流域や都市部に対して河川の恵みによる大きな資源を提供しているのであれば、ダム建設による治水対策は広く多くの市民・県民・国民さらに国土の保全に資する重要かつ不可欠な事業であると考えます。</u></li> <li>・<u>今回の検討結果を尊重し早期着工と早期完成を心より願っています。完成するまでに、どのような災害が起こるかわかりませんから、緊急の対策を求めるものです。</u></li> </ul>	地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。
	20	地域 (16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ダム建設のためたいへんな金かけて私たちの年金やらへらされて困っています。</u></li> </ul>	沿川住民の生命・財産を守り、生活基盤の安定を図る目的から治水対策の必要性にご理解・ご協力をお願いします。

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：5/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	21	地域 (17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>巨額の金を使ってまで、玉来ダムを作る必要があるのでしょうか？</u> <u>必要ないと思います。</u></li> </ul>	<p>沿川住民の生命・財産を守るとともに、生活基盤の安定を図る目的から治水対策の必要性にご理解・ご協力をお願いします。</p>
	22	地域 (18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>地元の声を反映した討議を行い、資料の中に地図で示して下さい。</u></li> <li>・<u>洪水が調節できるのならダムを作れば安心です。</u></li> <li>・私は一昨年6月川床から川に沿って魚釣戸の滝の写真を撮りに行きました。滝のすぐ手前にダムの堰堤になるのかペンキで大書きしていました。ただ稲葉ダムと違って、<u>とても寄りつきにくい所なので取り付け道路など工事費がかさむと思います。ダム「効果」と税金出費を天秤にかけ議論を深めましょう。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>費用対効果については、大分県事業評価監視委員会の審議のもと適切に総費用・総便益を算出し分析を行い、事業を実施しているところであり、ご理解・ご協力をお願いします。</p>
	23	地域 (19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉来ダム建設事業の検証パンフを拝見し事業の進行状況がよく理解できました。現政権の脱ダム宣言の趣旨も理解できますが<u>竹田地域の現状を考慮しますと、玉来ダム建設は必要不可欠だと考えます。</u></li> <li>・しかし、<u>建設に伴い地域の自然・環境の保全については十分に配慮して下さい。ダム建設にあたり、生態系の破壊・著しい環境の変化は望みません。竹田地域の他に類のない自然・環境との調和の取れたダム建設に取り組んで頂きたいと考えます。</u></li> </ul>	<p>計画中の玉来ダムは流水型ダムであり、通常時はダムに貯水しないため、<u>改変区域が少ないダムであり、貯水型のダムより環境への影響は少ないと予測されています。</u></p> <p>環境への影響については軽減・保全対策を検討すると共に、<u>国や環境関係学識経験者と協議しながら環境対策についてモニタリング及び必要な保全対策を講じることとしておりますのでご理解・ご協力をお願いします。</u></p>
	24	地域 (20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策会議(四自治会で決定)では土地の提出、その他事業に関する諸材料の提供は100%協力すると申し合わせている。<u>ダムを防災上、「造る」「造らない」「必要か」「不必要」かの議論で考えるべきでない。想定外の降雨があると基本高水の増大が予想される。ダムは防災上不可欠だ。</u></li> <li>・代替案もいろいろと考えられるが、<u>川の半分は土砂が堆積しているので早急に取り除けば少しは不安が解消される。川底の掘削が有効だと思う。堤防の嵩上げは悪水の流入が多ければ意味がない。</u></li> <li>・私たち流域住民は<u>過去の経験からダムの早期完成を望んでいます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>また、堆積土砂につきましては、随時計画的に除去して参ります。今後も適切な維持管理に努めていきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：6/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	25	地域 (21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>(1) 現行整備計画案にすべきと思います。この事業は現に発生した事実に基づいて計画されたものであり、今後起こるかも知れない事業と同一視することはできない。</u></li> <li>・ 玉来ダムは平成 14 年に完成しているはずであったのに、まだ本工事に着手してないのは何故ですか。沿岸住民は体験から水害の恐ろしさを知っており、<u>一日も早い着工を望みます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p> <p>稲葉ダムと同様の難しい地質であるため、慎重な調査・設計を行っておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。</p>
	26	地域 (22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>(2) 放水路案＋中上流堤防かさ上げの複合案、(3) 河道の掘削案＋下流堤防のかさ上げの複合案、(5) 堤防のかさ上げ案の単独案でお願いします</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	27	地域 (23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の国の検討では、困ります。玉来ダムは造ってもらわねば、以前のような大水害が起きたら堤防のかさ上げではどのくらいの下流までだろう。少くくは、意味のない事になりそうです。だから、<u>きちんとダム計画をして下さい。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	28	地域 (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上川床集会所は土台より 1m 位浸かったのが、<u>瞬時にとまるダムの方が良い</u>と思います。3 案は 4 年から 6 年で元に戻るのではと思います。4 案は農地が駄目になる。5 案は 3 案と同じですが、元に戻るのに時間が長くなると思います。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：7/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	29	地域 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が採択した事業を、<u>政党が変わったからとのことで簡単に変更されたのでは、市民は不安に陥り、将来安心した生活ができません。</u>計画を変更するなら、その理由を付して選挙で問うのが筋と思われ ます。</li> </ul>	意見の一つとして承ります。
	30	地域 (26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>玉来ダムは、造って下さい。平成2年のような洪水が起こると思 いますので、よろしく願います。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	31	地域 (27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉来ダムは、住民の永年の願い事と思います。また、<u>稲葉ダムが完 成した次は、玉来ダムと思い今日まで来たと思います。</u></li> <li>・平成2年の大水害を思い出して下さい、<u>現行整備計画案通りに工事 をすることをお願いしたいと思います。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	32	地域 (28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的に大洪水が発生しています。<u>竹田もいつ大雨が降ってもおか しくありません。大雨が降った時は不安でなりません。</u></li> <li>・<u>下流に住んでいる者として、ダムはつくってほしいです。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：8/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	33	地域(29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸関係者の皆様には<u>地域の活性化のため御世話を戴き、感謝申し上げます。</u></li> <li>・ <u>玉来ダム建設については大賛成です</u></li> <li>・ <u>しかし、今後の日本はどのようなのでしょうか？若い人たちに大きな負債？国民みなさんで考えるべきではないでしょうか。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	34	地域(30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉来川下に魚住ダムがある為竹田の方に水が流れ、災害が起きたのではないのでしょうか。その為にも<u>玉来ダムは必要です。</u></li> <li>・ <u>玉来ダムと、稲葉ダムの2つがあって、竹田の町を守る事が出来るので、絶対必要です。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	35	地域(31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>7つの評価軸による総合評価及び順位付け(案)で1位だった①玉来ダム案+河川改修をせつに望みます。</u>災害は忘れたところにやってくると言われていますが、今やそうではありません。(昭和57年、平成2年の大水害が物語っています。) よろしく願い申し上げます。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	36	地域(32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ダム建設が必要と思う。</u>私の所は宮ノ井路で水源が近く、山を登り下りが困難であるがダムが出来れば、少しでも良くなるかと思う。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：9/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	37	地域 (33)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>安全度を最優先させ、総合評価 1 位の①玉来ダム案を支持します。</u></li> <li>・ <u>特に、早急に取りかかり短期間で完成させることを望みます。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	38	地域 (34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>玉来ダムは、下流の私共にとって、安全な川で生活出来るための大切なダムです。ぜひ、実現をお願いします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>
	39	地域 (35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>玉来ダムの建設事業を実施してください。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>
	40	地域 (36)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>地球温暖化による大雨台風等による災害の多発。</u></li> <li>・ <u>玉来ダムは流木止めダム。</u></li> <li>・ <u>稲葉ダムとセットで下流町村の安全のために絶対必要。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：10/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	41	地域 (37)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年の時に水害にあい、家（離れ、倉庫、牛舎）を流され、大変つらい思いをしました。二度とこんな思いをしたくないです。<u>是非、ダムの実現をお願いします。</u></li> <li><u>道路を広めて下さい。（県道699号）</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。</p>
	42	地域 (38)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>川床線の道を広げてもらいたい。</u></li> <li><u>川の中を清掃する。（ヨシとか、砂がたまって中洲ができています。）</u></li> </ul>	<p>道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。</p> <p>また、堆積土砂等につきましては、随時計画的に除去して参ります。今後も適切な維持管理に努めていきます。</p>
	43	地域 (39)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年7月に起きた竹田大水害の際、拝田原一帯は大きな被害を受けました。あれから20年が過ぎた今、拝田原は竹田の中心地となり、人口と交通量も一段と増加しています。<u>近年、異常気象でゲリラ豪雨という現象になりうる可能性は否定出来ません。拝田原が水没する恐れはあり、とても心配です。</u></li> <li><u>玉来川のダムの早期着工を願っております。よろしく願いいたします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	44	地域 (40)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>玉来ダム案を進めてください。平成2年の大水害を体験して何とか安心して生活できる治水管理をして下さい。安全が第一です。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：11/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	45	地域(41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ダム建設に伴い、地域道路が改良されるであろうことを期待します。</u>下川床、向山田は、まだまだ若い人が活躍できる農業の場があります。それを生かし活気づける為に、又そこで生活し続けるために、道路の拡幅は長年の住民の望みであります。下川床方面は、車の行き来も近年多くなり、通学路としての利用もあります。</li> <li>・<u>ダム建設が実現することで、地域の活性化に繋がることを意見として、検討していただきます様、お願い致します。</u></li> </ul>	地域の皆様の貴重なご意見として、承ります。道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。
	46	地域(42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>道路を広く良くしてほしい。</u>紙漉橋の所に田があるのですが、道路が下がり田んぼに水がはいるのでよくしてほしい。</li> </ul>	道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。
	47	地域(43)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>世界各地で経験したことのない大洪水が起きてます。当地もいつ大雨がやってこない保障は何もない。</u></li> <li>・<u>大雨が降れば、かならず地滑りが起こり、流木が発生する。治水ダムならば洪水調整と流木止めになる。私はダム建設に賛成である。大災害が最小限の被害になることを期待したい。</u></li> </ul>	地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。
	48	地域(44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>穴井迫小川線の早期改良をお願いしたい。</u></li> </ul>	道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：12/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	49	地域 (45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>現行整備計画通りに進めて下さい。</u>理由は20年にわたり調査計画推進してきたものを、年間に何度も交代するような大臣の要請など責任ある政策とは思えぬ。中九州道路もしかり、今までに見直す機会は何度もあったはず。今更検討に値しない。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>
	50	地域 (46)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>竹田地区は年に何度かの水が出て、時には大水害に遭いますので、玉来ダムは効果があると思います。</u>水害の一番の被害は、崖くずれと森林の流木によるものが多かったのではないかと思います。</li> <li>・<u>検討討議はよいものと思っています。</u></li> <li>・<u>お金は国も地方も難しい時ですので、ワイロのない正しい使い方をよろしくお願いします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>沿川住民の生命・財産を守るとともに、生活基盤の安定を図る目的から治水対策の必要性にご理解・ご協力をお願いします。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策を推進していきます。</p>
	51	地域 (47)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>現行整備計画（玉来ダム案）で進めて行くべきだと考えます。</u></li> <li>・<u>すでに河川改修も終わり、ダムの建設を待ち続けてきた方々のことを考えて進めていくのがよいと思います。</u>災害の被害を受けた方のことを、もっと考えるべきだと思います。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	52	地域 (48)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>災害は何時来るかも知れない。出来れば早急に着工して完成させてほしい。</u>ふり返って歴史的にみても、この地域は60年に一度の割合に大水害が来ると云われています。後20年～30年でまた来る年になります。<u>一日も早く進めてほしいと思っています。</u>よろしくお願いします。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：13/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	53	地域 (49)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、あれだけの大水害を経て20年が経過したが、<u>もう少し早く取り組むべきであったと痛感する。</u></li> <li>・さて、現行案が当然に最良であるが「国のダムに頼らない治水云々」がネックになれば、現行案を変更することも考えておかねばと思う。そこで他の案だとすれば、2案+3案の複合案を研究（県としても当然研究していると）してみる必要があると思う。コスト、安全性から最も実現性に近い案だと思う。しかし、<u>現行案をあくまで追求して、この一年、国に更に働きかける運動を繰り広げるべきではないか。</u>既成事実がある以上、国も不作為違反にならぬよう早急に取り組むべきである。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>予断を持たずに検証を実施し、玉来川に最も良い治水対策の早期実現を推進していきます。</p>
	54	地域 (50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ダム事業に賛成。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>
	55	地域 (51)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>仕事はちゃんとやり遂げて下さい。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>
	56	地域 (52)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ダム建設案をお願いします。</u></li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（地域住民からの意見聴取：14/14）

意見番号			頂いた御意見の概要	頂いた御意見に対する考え方（案）
分類	番号	項目		
地域住民からの意見聴取結果	57	地域(53)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉来川ダムアンケートが自治会長より配布されてきました。ダム工事について調査（ボウリング）が行われているなか、今になってこの様なアンケートが来ると言う事は、再度ダムに関係する地区民に検討していただきたいとの事と思います。<u>私の今の考えは、建設に反対です。</u></li> <li>・<u>まず先にやっていただきたい事は、河川にたまっている、砂、砂利、よし等が護岸の8割も埋め、大雨の時に流れも悪く氾濫する危険があります。その砂、砂利、よし等の除去を早急に行っていただきたい。</u>河川は土木関係だと思い除去の申し込みをして5、6年になります。土木方に努力をしていただき、かなり除去していただきましたが、予算の関係だろうと思います。なかなか先に進まなく梅雨時期になると不安になります。予定しているダムを造ればこの様な不安がなくなるのか？</li> <li>・<u>予算があればこの様なことから先にやって頂き、他にも農業用水路、それに伴う道路などやっていただきたい事が沢山あります。</u>予定地の人の話によれば詳しい内容の事はわかりませんが、谷を埋めたり水路工事など、色々な事もしてもらえとの話です。地区優先もわかります。私は利を求めるものではありません。水害には、大変怖い思いをしてきました。まっ先に河川に埋まっている物から除去していただきたい。ダムが予定されている上に宮野、宮ヶ瀬、下には川床水路があります。この水路は場所も悪く多くの田畑、生活用水、防火用水として多くの人が利用して松本まで流れています。この水路の管理が少しでも楽になるのであれば考えを変えなければなりません。地区の人だけに利があって、下地の者に関係ないと言うのではなく下地の者も安心して生活できるのであれば何も言う事はありません。</li> </ul>	<p>地域の皆様の貴重なご意見として、方針決定の参考とさせていただきます。</p> <p>また、堆積土砂等につきましては、随時計画的に除去して参ります。今後も適切な維持管理に努めていきます。道路については関係機関と協議し、必要性を含め、検討してまいります。</p>

### ③ 学識経験者からの意見聴取

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（学識経験者からの意見聴取：1/2）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
学識経験者からの意見聴取結果	58	学識経験者(1)	<p>玉来川の状況（現地視察を行ってみて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全般的に見て、河床に土砂が薄く堆積しており、岩盤が露出している箇所が多い。</li> <li>・ 阿蘇山の噴火活動による溶岩流が重なりあった層により、段差や瀬、淵等が形成され、せせらぎや転石など、玉来川における独特な河川景観を創出しており、地域の景観資源となっている。</li> </ul> <p>代替案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダムの代替案の一つとしてあげられている河道の掘削については、河床の岩盤を掘削する案となっているが、その場合は、土砂の堆積箇所の植生状況、瀬や淵等の河道形態を調査・確認をしたうえで、可能な限り堆積土砂や植生を保全することが必要である。</li> </ul> <p>さらに具体的な措置を提案すれば、河床岩盤を掘削する際には、一律に一様な水路形状で掘削するのではなく、現況の河道に存在する瀬や淵、堆積土砂等を可能な限り残し、また施工区間を年次毎に分けて施工するなど、玉来川の河川景観を著しく損なわないように工夫することが必要であると考えられる。</p> <p>全般的な意見（検討案について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ダム案にせよ、他の代替案にせよ、着手前に十分な環境調査や河川形状・地質等の調査を実施した上で影響評価を行い、環境保全措置を実施することが必要である。</u></li> <li>・ <u>重要な植物等、保全対策が必要な種が確認された場合、ただちに移植を行うのではなく、生育状況についてモニタリングを行いながら、挿し木や種子採取など他の方法も併せて実施し、消失を防ぐ工夫が必要である。</u></li> </ul>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（学識経験者からの意見聴取：2/2）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
学識経験者からの意見聴取結果	59	学識経験者(2)	<p>玉来川は、竹田市の市街側から見れば盆地を流れる緩やかな曲折の多い流れだが、西に遡上するに従って岩盤の多い溪流となり、魚類はサツキマス（アマゴ）等の重要種も見られる清流となる。</p> <p>流域を概観すると、山林41%、牧草・野草地27%、田畑31%、流域内人口は約9,500人である。有用魚種から見ても、流域の山林の割合が大きいので、山林への処置が生物の多様性に大きく影響を与えるものと考えられる。また、この地域はおよそ30年に一度の豪雨災害が市街地にあり、住民生活に大きな被害をもたらしている。</p> <p>ダムの代替案を考えるならば、河道の掘削や拡幅などにより、河積を拡大する必要があるが、コスト等諸般の事情から実現困難とみられる場合もあると考える。しかし、この玉来川の流域・盆地をひとつの「生態系」として考えた場合、これを保全し、生物多様性戦略にかなう環境を維持することは重要と考えられるので、幾つかの対策を提案する。河川の曲折（蛇行）、瀬淵、河床材料、砂洲、植生、日照・陰影、水量・水質、透明度といった河川環境の構成要素は、河川に生息する魚類、底生動物、付着藻類等の水生生物はもちろん、河川を利用する小動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類）の生息に密接に関連し「生態系」を構成している。安定した「生態系」の中では、生物と無生物が互いに複雑に作用しながら物質やエネルギーの循環、移動が行われ、一定のバランスが保たれている。</p> <p>したがって、<u>ダム案・代替案いずれの場合であれ、事業の実施にあたっては、「生態系」の構成要素及びその複雑な相互作用やバランスが消失・変質しないよう、慎重な影響予測や保全対策の検討・実施が生物多様性保全の観点から望まれる。</u></p> <p>以上をもって、<u>住民の生活安定と産業振興・環境保全等に寄与することが出来れば幸いと思う。</u></p>

## ④ 関係地方公共団体の長からの意見聴取

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（関係地方公共団体の長からの意見聴取：1/1）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
関係地方公共団体の長からの意見聴取結果	60	竹田市長	<p>■「玉来ダム案＋河川改修（済）」の評価結果を支持・尊重します。</p> <p>玉来川は、阿蘇外輪山や・久住山の裾野に源を発し、滝水川など多くの支流を有している。これらの支流が玉来市街地の手前で合流することから、玉来・拝田原の市街地は過去に大雨のたびに幾度となく水害に見舞われてきた。中でも昭和57年と平成2年の阿蘇・竹田地方を襲った集中豪雨は、未曾有の大水害となり、とりわけ平成2年の大水害では市民が犠牲となるなど、家屋や道路・鉄道などのライフラインに、甚大な被害を受けている。</p> <p>これを受け、大分県及び竹田市では、玉来川及び支流河川の災害復旧事業や大規模な河川改修を行うとともに、玉来川の上流部に治水ダムを建設することにより、玉来川の治水を行うという構想の基、平成3年に「竹田水害緊急治水ダム建設事業」の採択を受けた。これが「玉来ダム」であり、これまで基礎調査が継続的に行われてきた。</p> <p>今般のダム検証作業については、26の治水施策を7つの評価軸を基に客観評価し、この河川並びに流域に最も適した治水方策は、「玉来ダム案＋河川改修（済）」との評価が導き出され、去る12月22日の「第2回検討の場会議」において承認されている。</p> <p>また、玉来川流域の自治会長の多くが、この評価結果を支持しており、平成2年の大水害から20年が経過し、計画されている「玉来ダム」の早期着工を望んでいる。</p> <p>こうした市民（代表）の意見を受け止め、また玉来川の流域は平地が少なく、起伏の多い地形であることや、市街地の玉来・拝田原地区に住宅地や商業施設が集中し、この中を鉄道や国道などが通っていることを考慮し、市としては、これまでの検証過程における治水方策案（評価結果）を支持・尊重するとともに、国を始め、関係評価機関に対し「検証の取りまとめ案」の速やかな承認並びに採択を希望致します。</p>

(参考) 委員からの意見聴取

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（委員からの意見聴取：1/4）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
委員からの意見聴取結果	61	委員 (1)	・ <u>コスト面、環境面からダム案が優れているので、ぜひダム建設で決定してほしい。</u>
	62	委員 (2)	・ダム建設、河川改修案によって早期に進めて下さい。
	63	委員 (3)	・平成2年の水害時、私用で竹田の町へ行き、あの水害を目のあたりに体験した一人です。水の恐ろしさを今だに感じています。竹田市の人口も減少していく中で、 <u>安全で安心して暮らせる町づくりには玉来ダム建設は市民が早期完成を望んでいると思います。</u> 今回、私も委員として各先生方をはじめ、事務局の方々の話を聞く機会を得まして、ダム建設のことについて勉強させていただき、研修の場を通じて地元の住民として大変嬉しく思っています。 ・魚釣戸滝は、私達住民にとって、子供の頃から話しに聞き、親しんできました。平成2年の水害で昔の面影はありませんが、今は夫婦滝として愛されています。 <u>ダム建設に伴い道路を造って、魚釣戸滝の近くまで車で行ける様にできないものですか。</u>
	64	委員 (4)	・家屋の移転に関するのですが、「生活」という角度から意見を言わせていただきます。 <u>これまでの住み慣れた住居を替えるということは、ただ物理的に家がるというものではありません。その人の生活も変わることです。実際そのような人が居るかどうかは別として一般的な考え方として、生活の変化があげられます。特に高齢者におきましては新しい住居や生活環境が与える影響は計り知れないものがあります。また高齢者を取り巻く人達の生活リズムにも変化を及ぼすことが考えられます。家屋の移転は、その人の人生までも変えてしまう可能性があります。家屋の移転は、マイナス因子なので、少ない方が良いでしょう。</u>
	65	委員 (5)	・できる限り早急な結論へ、そしてより妥当な解決策（案）を求めたいと考えます。これまでの経緯から、 <u>計画途上のダム案を基本とした検討へと進めて頂きたいと思っております。経費比較、環境対策等を勘案すると、最も妥当な方策であろうと思います。</u>
	66	委員 (6)	・素晴らしい資料が作成され、説明も十分で私は理解できました。ただ、ダム周辺の写真が第1回会議資料玉来ダム事業の概要資料5の4ページ、第2回会議参考資料の④環境への影響に関する資料6による魚釣戸滝の紹介しかないので、 <u>現場を知らない人はどれだけのイメージができるのでしょうか。2回の会議に出席して現場写真が少ないのでイメージがわからない。</u> ・早く建設してほしい。

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（委員からの意見聴取：2/4）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
委員からの意見聴取結果	67	委員 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市は過去に2回の集中豪雨（昭和57年・平成2年）の水害を受けている。この原因は何であったのか、私は、治山治水にはあまり詳しくありませんが、要因の1つに<u>起伏が激しい地形特有がもたらす集中豪雨の凄まじさは、災害（水害）を受けたものしかわからないと</u>考えます。</li> <li>・その対策として、これまで協議を重ね最終的には一時的な貯水と調整を図る2つのダムを建設することにより、有事の災害は避けられると判断し、平成3年には事業の採択を受けたと聞いています。更にこの2つのダムの1つが竣工したが、もう1つのダムについては、再度工法を検討検証とのこと、本来2つのダムはセットで機能を発揮できると考える。これまで2回の検証をしてきましたが、メニューの組み合わせについては、先に完成している稲葉ダムと玉来ダムの関係において、玉来ダムを他のメニューと組み合わせた場合、稲葉ダムの機能がどうなるのか十分検討の価値があると思う。今考えなければならぬことは、稲葉ダムを最大限活用するためのメニューの組み合わせ方法を検討することが肝要と考える。また、<u>市民の不安を取り除くため早期に対策を講じるための方策を検討することが必要</u>と思います。私は、<u>漁礁や治山の問題などは工法で検討すれば足りることであり、本来の2つのダム建設が最大の方法と</u>考えます。</li> <li>・今回の竹田水害においては、犠牲者が出ている。これをどのように捉えるか、二度と犠牲者を出さないための方策は何か、それは、1～2回の検証でも意見が出ていましたとおり、<u>「将来に向けて安全で出来るだけ早く対応し、市民の不安を取り除くこと」</u>の思いが大多数と思う。人命の尊さと予算は別と考える。</li> </ul>
	68	委員 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>当河川の地形（上流）の状況を考えると、下流域の人命、財産を守るためにはダム以外考えがたい</u>と思う。また河川の工事が完了しており、別の改修方法でも水の流れの速さを考えると（河川のU字溝状態）、下流への被害は非常に危険性が大きいと思われる。それらを考えるとダム建設方針でいく以外はないのではないかと。 （竹田ダム(魚住)への水量・水の速さの危険性も考えられる）</li> <li>・たとえばダムが完成しても、土地を提供した地域には何らかの思慮が必要と思われます。行政の方針ではダムの建設のみで道路の建設（ダム上流）などは考えてないとのことであったが、<u>せめてダム上流周辺道路の地元利用等を</u>考えてはどうか。</li> </ul>

「玉来ダム建設事業の検証に係る検討案」に対する意見聴取結果（委員からの意見聴取：3/4）

意見番号			頂いた御意見の概要
分類	番号	項目	
委員からの意見聴取結果	69	委員 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>森林の存在がピーク流量を大きく低減させるという効果は少ないであろうし、現今のスコールの豪雨では、その洪水調節機能は対応不可能である。従って、洪水調節については、森林による代替は、期待しがたくダムに頼らざるを得ない</u>と考える。</li> <li>・ <u>しかしながら、森林は、土砂流出防止や水質浄化、渇水緩和等の機能があり、これら機能を十分活かすためには、ダム周辺及び上流域の森林の整備は必要と思われる。特に、河川沿いの森林の取り扱いについては十分注意する必要があり、間伐をくり返しながら広葉樹の導入を促進し、天然林化をはかることが望ましい。これは生物多様性の保全にとっても重要である。また、河川沿いの森林については、切り捨て木などが流出しないような対策を講ずべきで、この対策を怠ると流木による二次災害の原因となる。</u></li> <li>・ <u>洪水に対する安全度の確保は、最優先されなければならないが、安全の持続性については、評価軸が別④になっているが、①にまとめてよいのではないか。</u></li> </ul>